

「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざして ～6年2組全校授業研究会の開催～

学習指導要領で求められている「主体的・対話的で深い学び」を実現させるため、6月13日（金）、南小全校授業研究会を開催しました。

午前中は、すべての学級で授業公開をし、講師の先生に見ていただきました。低学年は全体とペアで、3年生以上はグループで学び合う姿が多く教室で見られました。昨年度からの授業改善の成果です。

午後は、6年2組で算数の研究授業を行いました。

子どもたちはいつでも相談でき、支え合えるよう授業開始からグループ隊形になり、「分からなさ」を出し合い、相談し合って学びました。授業の終末には、探究型学習課題にも挑戦しました。



グループ隊形で学ぶ6年2組の様子



授業研究会のグループ交流の様子

授業研究会には、巣南中、那加第一小、高山市立東小など他校から多数の参加があり、学校を越えて教員が授業改善について学び合いました。

講師の先生からは、「6年2組の子どもたちは聴ける子どもたちであり、互いにつながれる子どもたちであり、互いをケアできる子どもたちだった。」と子どもたちの学ぶ姿を認めていただきました。

学校への浸水を想定した「垂直避難訓練」を実施

6月16日（月）の朝、「垂直避難訓練」を実施しました。「垂直避難訓練」とは、近くの川が氾濫して、学校が浸水の被害に遭った場合を想定した避難訓練です。

校舎の1階が浸水の被害にあったという想定で、1階に教室がある1年生3クラスとふたば学級5クラスの子供たちが2階と3階に避難しました。子どもたちは静かに落ち着いて避難訓練をすることができました。